

平成27年度第2回社会教育委員会議 会議録

【開催日時】 平成27年11月9日（月） 午後1時30分から2時40分まで

【開催場所】 教育委員会 大会議室

【出席者】

（委員）

浅間委員、飯牟礼委員、飯山委員、岡本委員、佐中委員、佐野委員、椎谷委員、伴委員、藤間委員、森委員、山田委員、渡邊委員（12人）

（職員）

小林生涯学習部長、増田生涯学習部次長（兼生涯学習課長）、西沢文化・スポーツ課長、日暮図書館長、斉藤鳥の博物館長、今井生涯学習課主幹（兼公民館長）、小林文化・スポーツ課長主幹、宇賀神図書館長補佐、生涯学習課 望月、湯下

【傍聴人】 なし

【会議次第】

- 1 開会のことば
- 2 社会教育委員長挨拶
- 3 生涯学習部長挨拶
- 4 議事（議長：渡邊委員長）
 - （1）平成27年度社会教育事業の実施状況について（資料1）
 - （2）生涯学習部平成28年度予定事業及び予算要求の概要について（資料2）
 - （3）「我孫子市第三次生涯学習推進計画」の素案について
（我孫子市第三次生涯学習推進計画（素案））
 - （4）その他
- 5 閉会のことば

【配布資料】

資料 1 平成27年度社会教育事業の実施状況（4～9月）【資料1】

資料 2 生涯学習部平成28年度予定事業及び予算要求の概要【資料2】

・我孫子市第三次生涯学習推進計画（素案）【我孫子市第三次生涯学習推進計画（素案）】

【議 事】

（1）「平成27年度社会教育事業の実施状況について」【資料1】各担当課から報告。

○生涯学習課長：生涯学習課企画調整担当より報告します。まず、会議資料の1ページです。社会教育委員会議は皆さんにご出席いただき、6月30日に会議を実施しております。2の成人式は平成28年1月10日に行います。これに向けて新成人の方々の代表

者を選出いたしまして、準備のための企画運営会議を開催しました。次に3の地域交流教室です。これは小学校の空き教室を学校に影響の無い範囲で、学校から許可を得た教室をお借りして、地域の方々の学習の場として使わせていただいています。回数については表のとおりです。前年度に比べてやや減っています。次に4の後援事業です。これは生涯学習課に申請のあった後援事業について記載しています。5視聴覚ライブラリー

(1) 18ミリ映写機操作会は実際に映写機を操作して覚えていただくというもので、毎年10人前後が受講しています。(2) 視聴覚機材の貸出も表のとおりです。貸出件数についても前年度に比較するとやや落ちています。特にビデオの貸出ですが今のところ借り入れはありません。(3) 毎年生涯学習課の方で企画、運営をしていて、子ども達、特に小学校低学年までの子ども達を対象に映写会を行っています。今年は映写会プラス絵本の朗読会を行いました。下に参加人数も書いてありますが、100人に参加していただいている、大変好評でした。次に6生涯学習推進本部およびあびこ楽校協議会について、まず生涯学習推進本部の会議を開催し、前年の実施状況と27年度の生涯学習の事業報告、事業予定を報告しています。幹事会も同じです。あびこ楽校協議会も同じです。次のあびこ楽校ニュース部会、あびこ楽校の事業部会は今年度のニュース、あるいは今年度の事業予定を検討しております。それから生涯学習の第三次推進計画の策定部会を3回開催しております。のちほど検討した意見を頂いておりますので調整してまとめたものを説明させていただきます。実施状況については毎年事務局の方で調査して報告しております。以上で企画担当の報告を終了します。

- 公民館長：27年度公民館事業の実施状況について説明をさせていただきます。資料は5ページからになります。一番上にあります学級事業、下の方は公民館の講座、学級についての報告になります。65歳以上の方を対象とした長寿大学をはじめ、2、3歳児までをもつ保護者を対象にしたのびのび親子学級など5学級を実施しております。受講者数の欄につきまして、定員は4月1日当初の定員をもとに9月末現在の学級生の数、といったことになっております。例えば長寿大学1年生は54名募集定員ということですが、上半期において2名ほどおやめにならざるを得なかったということで52人の受講者がおられるといったような表の見かたになります。(6) アビコでなんでも学び隊は小中学生を対象に主に夏休みの長期の休業期間を利用して実施しているものでございます。全11回実施してまいりました。6ページにあります2番、3番利用状況、公民館の利用と駐車場の利用ですが、これはほぼ昨年並みに推移しているところであります。7ページの展示スペースの利用についてですが、ストリートというのは1階の皆さんが良く目にされる壁の部分に展示スペースがあります。一番右にありますミニホール前、ここが殆ど利用がないのですが、ここは2階の方のトイレの前、和室に行かれる方が見られるということで、展示される方については殆ど皆さん利用がない、いわゆるお客さんがそんなに見ないというところがありますので、あまりここは展示される方はいらしゃいませぬ。ただ冬の間、子ども達の書道を飾ったりすることがございます。オープンスペースや第四学習室前までのこの部分については、工芸工作室、すべてガラス展示ケースの中に展示するスペースとなっております。一番人気はやはりストリートでこちらの方は抽選で行っております。8ページ以降につきましては出前講座の申込状況、利用状況ということになります。それから公民館のこちらの報告書にはないので

すが、維持管理といたしまして我孫子市公民館2階にありますミニホールこちらの中の照明器具、これまでは水銀灯で半分近くも壊れて新しい製品がつけられない、部品がないということでしたので今回すべてLEDのライトを同じ個数つけまして瞬時に照明がつくということ照度の調整ができること、といったことで、利用者に喜ばれているものと考えております。それから昨年から続いているのですが、今年は湖北地区公民館につきまして空調の更新工事を始めております。第一期といたしまして、ホールとロビーの工事を実施しているところでございます。期間は12月の18日くらいまでにはすべて完了するといったかたちで順調にすすんでいるところでございます。簡単ですが以上です。

- 文化・スポーツ課長：10ページ文化振興担当からご説明いたします。共催事業関係が28件、後援関係が36件ということで記載のとおり実施しております。共同主催事業のなかで約23,000人ぐらいの方参加していただいているのですが、基本的に一番多いのはアロハフェスタ、6月6日12,000人、手賀沼公園に来ていただいていますので、これが一番大きい数字かと思えます。あと大きい数字につきましては市民プラザでおこなっている展示会、期間が長いものですから人数的には大きな人数となります。続きましては11ページ2番文化祭ですが、例年ですと文化祭10月から12月の間に実施しております。今回9月とよせておりますが現在湖北地区公民館、改修工事を実施しており使用できません。その関係で文化祭前後に少しずつ期間を離しています。そのため、市民文化祭のうちの一部が9月実施ということで今回ここに掲載させていただいております。次の3番、市民文化講座ですが、これは例年どおりの実施で現在もおこなっております。今来年度にむけてどういうものをやるか、講師の方はどういう方にするのか、選定の時期に今入っている状況です。続きまして13ページ歴史文化財担当ですが、1番文化財審議会ヒカリモというものを指定すべく内部で調整しております今年度中にはヒカリモを市指定の文化財ということで指定をする予定になっております。続きまして埋蔵文化財発掘調査ですが、記載のとおりになっておりますが別当地遺跡というものがたくさん書いてありますが、上半期は湖北小の西側になりますが、そこで畑、栗林等が宅地になるということで、これから宅地造成がはじまります。その前半で発掘調査を4件実施する予定であります、そのうちの3件を今回報告させていただいております。別当地遺跡第30次、4月23日から6月30日、次の33次が7月8日から8月14日、35次が8月3日から10月2日ということで間髪あけずに4月から10月までずっと実施しているような状況です。今現在4番目も実施しておりますので今年度はこの別当地遺跡が中心に発掘調査をすすめている状況です。古墳時代の住居のあと、奈良時代、平安時代の住居のあと高床式の建物等でしております。特に高床式の建物につきましては旧湖北高校が、奈良・平安時代の正倉と、役人が事務をとっていた場所ということでそれに関係すると思われるような高床式の建物の一部が検出されております。続きまして3番文化遺産の活用になりますが、(2)のあびこ電腦考古博物館につきましては現状、今鳥博のサーバーの中にプラスされて観ていただける状況ですが、鳥博のサーバーのリニューアル等がありまして来年度から市のホームページの方にプラスされるような形で今やっております。9月補正で予算をいただきましたので今年度後半に調整をしまして来年度から市のホームページで電腦考古博物館が観られるような状況で開催報告をしたいと思っております。続きまして村川別荘ですが、活用イベント竹灯籠の夕べですが例年9月にやっておりましたが、今年

は日程の関係で10月に延期しております。その関係で上半期の入場者の人数が若干少ない状況になっております。4番白樺文学館、次のページ14ページの5番杉村楚人冠邸記念館等は企画展、それにとまうようなイベント等を実施しております。旧井上家住宅につきましては現状どおり今修繕等をやっておりますが、一部見学もできますので人数的にはこのようなかたちになっています。次スポーツの方からご報告いたします。

- 文化スポーツ課主幹：スポーツ振興担当からご報告いたします。1番スポーツ推進委員活動事業につきましては、我孫子市のスポーツ推進(1)のポールウォーキング教室は市内の方を対象におこなっております。2番の東葛飾地区事業につきましては鎌ヶ谷、我孫子、野田、流山で2年間ずつ会場を移しまして、今年度我孫子で来年度も我孫子でやります。市民体育大会につきましては、今実施中で参加者はちょっと確定できておりません。次の各体育施設利用状況につきましてはお示しのと通りの数字ですが、体育館については指定管理者がずいぶん頑張ってくれていまして利用者も伸びております。次の16ページの学校体育施設の開放です。ここにのっているのは学校プールの開放ですが体育館と校庭のほうも一般開放しております。プール開放ですが、夏休み期間中市民プールの代替として、学校プールを開放しています。今年度は久々にフルで開放できました。今まで放射能の関係とか、耐震工事の関係でできなかった学校があるのですが今年度に関しましては、一般開放9校で団体開放、13校全部でございました。利用者もかなり増えていきます。ただちょっとお金がかかる事業なので今後どうしていくか考えていかなければならないかなと思います。以上です。
- 鳥の博物館長：鳥の博物館から4月から9月までの事業の実施状況についてご報告させていただきます。17ページからになります。鳥の博物館では鳥という親しみやすい動物をきっかけに身近な自然に関心を持ち、さらにそれへの理解を深めてもらい、最終的には地域への愛着を深めてもらおうと運営しております。実際には市民スタッフや友の会の方達の協力を得ながら、一緒に活動しながらすすめております。教育・普及活動では、例えば展示室における市民スタッフによるガイドツアー、あるいは学芸員によるガイドツアーなどを行いながらより親しみをよきもってもらうようにしております。企画展では、期間中に3回行いました。「鳥の鳴き声展」、「アホウドリ展」、これは山階鳥類研究所との共催で行いました。それから現在「飛んでいる鳥展」を実施しております。それから観察会・講座・講習を行いました。観察会としては博物館まわりの自然も博物館の展示の一部という、フィールドミュージアムを目指して観察会を行っております。毎月一回、てがたんという愛称で行っております。それからあびこ自然観察隊といった観察会も行っております。これは我孫子市内の代表的な自然環境のなかで季節に応じて年四回行うものなのですが、そのうち2回ほど行いました。それから18ページになりますけれども、鳥博セミナー・講座、いろんなセミナーを行っております。一つは、山階鳥類研究所の연구원の方に研究についてわかりやすくおもしろさを語ってもらうということで毎月テーマトークを行っております。それから室内啓発イベントは工作を通じてできるだけ博物館に親んでもらうそういう意図で行っております。小学生、中学生を対象に行っております。これも友の会、市民スタッフの方に協力を得ながら鳥凧教室や鳥の形の紙飛行機を作るイベントも行っております。それから夏休み期間中は、夏休みの自由研究相談や夏休みの我孫子市の小中学校の科学作品展から鳥に関する作品を借りてきて館内に展示し、研究の参考にしてもらおうというような企画も行いました。そ

れから博物館の大きな事業のひとつ、調査・研究活動ですが、これは地域の鳥類の生息状況、長期にわたってモニタリングしながら把握していこう、それを報告しようといったことでここに書かれてあるとおりに行っております。それからもう一つ博物館の大きな事業の一つは、資料の収集・保存活動です。博物館には約三千点の鳥類標本を収集しているのですが、それをできるだけ活用してもらおうというリクエストに応じて資料を公開しております。一般の方から、例えばカービング、あるいは鳥の絵を書く為の参考にとということで資料を見せています。それから館外への貸出、現在豊橋の自然博物館、大洗の水族館等に鳥の博物館の標本を貸出し役立てていただいております。最後に19ページの施設の利用者数ですけれども、前年度の比較がないので見づらいのですが、傾向としましては4、5、6月は去年よりも少し多くの方々に利用していただきました。7、8月は若干減りました。9月になりまた少し増加してきた感じです。鳥博からは以上です。

- 図書館長：図書館の方からご報告します。上半期の事業について説明します。主な事業として5つ実施しました。はじめに、「子どものための科学実験講座」、毎年来てもらっている坂口美佳子先生に来てもらいまして、「色のかわるステンドグラスをつくろう」ということで講座をひらきました。次に子どもの事業、関連事業として「よむよむラリー」を4月23日から6月30日までやりました。今年度はスタンプ用紙を保育園にも配りまして実施しました。昨年に比べて、昨年達成したのが362人でしたけれども今年度は405人に増えています。それから、読むことを楽しみにしている子ども達の為に、今普通にもやっているのですが、読書ノートというものを配布しています。希望者にはそういったものを含めて、引き続き読書に関心をもってもらうということで実施しております。次に旧ミッフィータイム、それからバーバタイムといわれたおはなし会ですが、今年度から「親子で楽しむおはなし会」と普通の「おはなし会」とに名前を変えました。名称について出版元の方から許諾を得てなかったものですから、やめたほうがいいだろうということで今年度から名称を変更させてもらって「親子で楽しむおはなし会」、対象は3歳児以下の乳幼児、4歳児以上の方、4歳から9歳児についてのおはなし会は引き続きただの「おはなし会」として実施しました。利用状況は昨年のおおりにです。それから布佐分館のおはなし会、こちらは去年の9月から試行というかたちでやっていたのですけれども、今年度は定例のおはなし会として実施しました。次に移動図書館のおはなし会、そよかぜおはなしタイムですが、青山台ステーション5回久寺家ステーションが4回でした。5番目として「離乳食教室での乳幼児と保護者への読み聞かせ」ですが、こちらの方は月1回計6回、参加人数223人、昨年に比べて若干増えております。次に利用状況ですが、全般に貸出の利用者数それから図書館の利用者人数、傾向として減少傾向です。昨年に比べて2%程度減少しています。ただ、8番目のリクエスト受付件数ですが昨年に比べ0.4%程度こちらの方だけは増えております。芥川賞をとった「火花」、こちらの方はかなりリクエストが多く、一つのそういった物がどっと来てという傾向があるのかもしれませんが、リクエスト件数については増えております。図書館からは以上です。
- 渡邊委員長：今事業報告をしていただいたのですが、今の報告に対してご意見、ご質問がある方はお願いします。湖北地区公民館と体育館は指定管理が入っていますが、そちらの報告に関しては別枠ではこないのか、ほんの少しだけ入っていますが。9月でしめて11月なのでもう少しあるのかなと思っていたのですが。先ほど文化・スポーツ課の報告で、体育館の

方はだいぶ指定管理のほう頑張って非常に増えたということでしたけれども、どういう風なことで増えたのか、それと湖北地区公民館の事業は指定管理なので、自分たちの独自事業が入っていると思うのですがそれがちょっと見えなかったのです。

- 公民館長：湖北地区公民館の方もアクティオが指定管理者となっています。昨年の上半期での実績につきましては、自主事業は40回でした。今年度の自主事業の実施回数といたしましては48回実施しております。1年目より2年目、2年目より3年、今年が最終年ということで今年はかなり頑張った自主事業ということになります。またPRのしかたも段々上手というか、リピーターも一緒に友達を誘っての参加ということもありますので、講座の内容によっては定員以上の方が講習されるというかたちもございました。また皆様ご存じのとおり9月くらいでしたか、講演会等も成果を発表会というかたちでホールを使ってのものがあつたと伺っております。それともう一つ市の方の公民館でやっているのと同じように、小さい子供さん向け、親子向け、中高年の方向け、シニア向けといったことで全世代に対して実施できるようなものを考えているところでございます。
- 飯山委員：視聴覚ライブラリーについて、みると利用率がすごく0、0、0とつながっているのですけれども、ビデオソフトの方は借りる人がいないという状況、今ビデオの時代ではなく今後どうされるのかということと、PRをされて皆さん利用してほしい方向にしていきたいのかどうか。
- 生涯学習課長：ビデオソフトについてはもうすでに新しい教材については購入しておりません。今現在借りたい方がいたらお貸しする方針です。今後の視聴覚ライブラリーですが、16ミリについてはもう映写機もフィルムも販売しておりませんのでこのまま継続していくこととなります。ただ16ミリの借入れは結構ありまして、今年度はやや少ないのですが、300件近く受けております。それに代わる機材として、プロジェクターとかそういうものも借入れがありますので、できるだけどういうものを所有しているかをPRして借りていただけるようかたちで事業をすすめていきたいと思っております。
- 飯山委員：7、8月に団体というか保育園、幼稚園、学童で借りていて、16ミリ他のところでは借りていないという表なのですが、個人でももちろん借りられるわけですよね。
- 生涯学習課長：はい。
- 飯山委員：昔ですが、私の友人が自分の子どもに誕生日に自宅で16ミリを借りて白い壁に映してみても楽しかったこと言っておりましたので、せっかくあるものですから個人にもっと借りられるという、自宅でも借りられるような方法とか、宣伝していただけるといいと思います。教育委員会においてあるので、視聴覚ライブラリーというと図書館ともっと関連があるような気がして、図書館にもうちょっとPRをしてもらうとか、そういうのをしていただけるといいのかなと思いました。
- 生涯学習課長：図書館に機材、フィルム等管理していただいて貸出していただければ良いのですが、機材を管理する場所がないということもありまして、教育委員会の方で管理しております。あるものは図書館、あるものは公民館等ということになりますと、それぞれまわってやるというかたちになってしまいますので、教育委員会で一括して管理しております。PRについては、毎年目録を作りましてPRはしているのですけれども、なかなか知っていただけないのかなということでもあります。貸出の件数については、ほぼ横ばいの状態です。

- 渡邊委員長：以前壊れてしまった屋外スクリーンは買いなおしたか、またはそれともそのままなのでしょうか。夏休み中に外で映画会というのはだいぶ前はあちこちの学校で結構やっていたのが、外用スクリーンが壊れてしまってもうできなくなっちゃたという話を聞いたことがあるのですが、スクリーンはありますか。
- 生涯学習課：屋外用スクリーンの大が1つと、中が1つあって中学校への貸出が年に1回か2回あります。ただ、屋外で土のあるところでないとは広げられないので、なかなか広げることがないのですけれども。
- 渡邊委員長：かなり大音量になると地域住民の理解を得ないといけないので、その辺もあってやりにくくなると言われているのですけれども。わかりました。ありがとうございます。
- 文化・スポーツ課主幹：体育館のほう、指定管理の関係ですが今年度からアクティオが指定管理をしております。それぞれの利用者に関しては250%くらい平均で伸びています。自主事業の教室の方は、骨盤矯正であるとか、簡単リフレッシュヨガとか、エアロビとか本格的なスタジオは体育館にないので本格的なものはやってないのですが、簡単なもので定期教室をやっています、どの回も定員いっぱいでおこなってまして、そちらの方の伸びもかなりあります。私も結構体育館に行くのですが、去年まで見なかったような方々が結構いらっやして、だんだんよくなってきているかなと思います。
- 渡邊委員長：他にないようでしたら生涯学習平成28年度の予算、予定事業及び予算要求概要について担当課よりお願いします。

(2)「生涯学習部平成28年度予定事業及び予算要求の概要について」(資料2)各担当課から報告。

- 生涯学習課長：生涯学習課企画担当、資料2の1ページ目でございます。視聴覚ライブラリー、成人式、地域交流教室を主な事業としてしております。前年度27年度今回の事業と変わっておりません。金額については不確定ですけれども一応のせております。前年度、今年度比較しまして視聴覚ライブラリーについては、さきほど借りられていないDVD等について予算を減らしております。成人式ですが、これについては前年度に比べて30万ほどかかっております。印刷費がかなりあがったということで予算をだしております。地域交流教室についても約7、8万位予算をあげております。申込み用紙の印刷が今回行う予定でありますのでその印刷代を計上したため少し増えています。以上です。
- 公民館長：民館事業につきまして公民館担当の方は1ページの下段からから2ページにかけてになります。学級・講座につきましては今年度並みということで、大きな予算の要求額の変更もございません。今年度並みで実施していこうと、ただ内容についてはそれぞれ担当の方で色々これまでの評価をしながら考えていくといったことになります。2ページの下段のところでございます湖北地区公民館の空調機の更新工事につきましては今年度第1期、来年度第2期としまして残りの学習室を対象に空調機の更新工事を実施しようと考えております。予算についてはこれからの状況でありますので見積等だしていくかたちになります。湖北地区公民館の指定管理の運営についてですが、先程も申し上げたとおり25年から3年間今年度は最終年というかたちでございます。今現在は28年度から3年間ですが、新しく指定管理を受けていただくといったかたちの準備を進めているところでございます。以上です。

- 文化・スポーツ課長：文化・スポーツ課3ページから6ページまでになります。3ページの電腦考古博物館さきほど市のホームページということでお話しましたが、基本的に予算的には計上はしておりませんが、実際にやるということで今回計上してなくても載せさせていただいているものがあります。4ページの手賀沼文化拠点整備計画、これも文化・スポーツ課として推進している事業なのですが、予算的には計上しておりませんが今回載せさせていただいております。5ページ、6ページ文化振興担当とスポーツ振興担当のほうの経常費のヒアリングをやりました。結構厳しいご指摘をいただきまして、ここに書いてある数字は変更があるということでご理解いただければと思います。あと戻りまして歴史文化財担当の方につきましては、先程話をしました別当地遺跡の発掘調査関係は今年度で終了しますが、同じようなかたちでもしあった場合は3ページの上から3つ目民間開発発掘調査、このところに予算が入ってくるようになります。以上です。
- 図書館長：図書館の方説明させていただきます。図書館の主な支出予算というのは図書館の資料収集になります。昨年が2,600万円でしたが今年は28,048千円計上しました。これは今年度いっぱい図書館の空調のリースが終わりますので、その分プラスしました。昨年、同じくらい要求していたのですが、ヒアリングが終わったあと2%カットということでその分削られた分をその分のせて要求しております。今まだヒアリングが終わってないので今後どうなるかちょっとわかりませんが一応こういうことで要求してもらいました。次に、子ども読書環境向上への取り組みというところですが、大変申し訳なかったのですがこちらの予算額が入っておりませんでした。もれていましたので、付け加えていただきたいと思います。197万7千円という金額を付け加えていただきたいと思います。これは国の子ども読書活動推進計画というものがあまして、そちらに基づいて県、または市町村がつくらなければならないとなっておりますので、私どもの方もそれを作っていくということで、まず、はじめにそれにむけてアンケート調査を実施しようと考えていますのでその分を計上させてもらいました。ハンディキャップサービスについては例年並みに計上させていただきました。以上です。
- 鳥の博物館長：鳥の博物館の予算要求の概要について説明します。7ページ、8ページになります。鳥の博物館の来年度の予算要求の一番大きなものは空調設備の更新工事として、博物館が築25年として建物の設備の老朽化が進みまして空調設備も限界ということで今年度空調設備、どんな方式が良いかと設計しましてそれに基づいて来年度工事を行う予定です。9,300万円の予算要求を行っております。その他については毎年とほぼ同じような内容になっているのですが、展示の中でも展示装置の老朽化等ということもありまして、常設展充実ということで一つはふくろうの巣箱にカメラをつけてその映像をアーカイブしてネットで流していますが、そのカメラも10年以上使ってそろそろ老朽化しているので更新するための予算をほしいと思っております。あと、この表にはないのですが博物館の運営上大事になってくると思われることとして、展示のリニューアルがあります。手賀沼文化拠点整備計画の中に位置づけられていて基幹事業に対する提案事業ということで基幹事業の進捗に合わせて資料集め等準備を進めていますが、予算上には現れておりません。ただリニューアルについては我孫子市の総合計画第7条実施計画の方に採択されている事業であり、ぜひ実現したいと思っております。以上です。

- 渡邊委員長：ただ今の説明を聞いてそれぞれみなさん社会教育委員活動をやっているからって関連する予算がかなり出ていると思いますけれどもご質問等・ご意見ありましたら手をあげてお願いします。
- 椎谷委員：1 ページの一番下の市民カレッジ「我孫子を知る」、これは非常に良いことだと認識しております。中身のなかで1 点だけ意見、要望を申しあげたいのですが、やはり自然のことを忘れてはいけないのかなということで4 月から1 2 月の中の1 回は自然をテーマに、例えば国内に誇れる鳥の博物館もあるわけですので、手賀沼を散策、自然を鑑賞しながら、バードウォッチングをしながら我孫子がいかに近郊にしては自然がまだまだ残っているといったところも実感していただくのも非常に大切なのかなと思いますので、全体のやりくりのなかで組んでいただければ嬉しいかなと要望に近いですが。
- 公民館長：評価ありがとうございます。「我孫子を知る」の学習ですが、最終的には地域活動の事例を紹介して地域活動の方に力を協力をさせていただきたいというかたちのものでございます。その中にご提案のありました我孫子の自然といったものにつきましては、1 つの事業しかないのですが現在行っているのは手賀沼の学習ということで船上学習というものを取り入れております。鳥をメインにしたいろんな手法があると思いますけれども、今のところ手賀沼の船上学習だけを取り入れているところにすぎない、またこちらの方も幅広く色々と事業の中に取り入れられていければなということで貴重なご意見ありがとうございます。
- 渡邊委員長：鳥の博物館の7 ページの下から2 段そこにE n j o y 手賀沼、J B F とありますが、水の館が工事になって鳥の博物館の方でほぼやるということでよろしいでしょうか。それとも予算がまったく変わってないので鳥の博物館は今までどおりメインでいて水の館だけは公民館の方へいくということの考え方で予算が含まれているのでしょうか？
- 鳥の博物館長：水の館の管理運営に関しては手賀沼課が所管としてやっております。水の館の中の一部に手賀沼の自然を扱うよう展示も入っております。もちろんそこには鳥の博物館も色々と情報の提供を行っておりますし、また運営されてからも施設と連携しながら相乗効果でもりあがっていかうと考えております。予算的には鳥の博物館の所管の事業ではないのでそれは反映されてないのですが実際やることとしては連携的をして進めていきたいと思っております。
- 渡邊委員長：そのまま毎年やっている同じことをやれるということで考えてよいですか。
- 鳥の博物館長：J B F もE n j o y 手賀沼もやることはだいたい同じように。
- 渡邊委員長：工事が2, 3 年かかるようなことを聞いているのでその工事の関係でどうなのかなと思っていましたものですから、それは大丈夫ですね。
- 鳥の博物館長：それは行われます。
- 渡邊委員長：続きまして我孫子市第三次生涯学習推進計画の生涯について私の挨拶に申し上げたことのみなさんの任期についてのこともありますので少し時間がとれると思いますのでお願いします。

(3) 「我孫子市第三次生涯学習推進計画」の素案について」生涯学習課から説明。

- 生涯学習課長：それではあらかじめお配りしておりました第三次生涯学習推進計画について説明させていただきます。この計画、素案ですけれども、さきほどお話がありました生涯学

習推進計画策定委員会で4回ほど検討していただき、ひらかれた意見を整理して素案としたかたちでまとめたものです。御存じのようにこの第三次推進計画は社会教育推進計画、これまでの社会教育推進計画と一本化した計画として位置づけられております。そういうことで社会教育推進計画と比べてみると、少しというかかなり策定内容が違っているように思われます。というのは、生涯学習推進計画が生涯学習全体の推進に係わる基本的な考え方、あるいは骨組みを定めている基本計画ということで具体的な事業等の計画は殆ど出ておりません。殆どというか出ておりません。そういうことで今までの社会教育推進計画は実施計画的な計画とは違ったものです。それでは3ページを開いてください。この計画の策定の趣旨、1番下の段楽に書いてありますとおり、第二次生涯学習推進計画の成果を踏まえ、学習ニーズの多様化高度化への対応や学習成果の地域への還元、学習によるつながり等の課題に取り組み、市の生涯学習政策をより総合的、計画的に推進するため策定するものです。続きまして9ページ計画の位置づけですが、まず市の最高指針である基本構想の掲げる将来都市像や今回今年度策定しております教育大綱を生涯学習の視点から実現していくための部門計画という位置づけになります。下の図を見ていただくとわかりますように、大綱に沿う、さらには総合計画から流れている部門計画と調整・整合の関係になります。続いて10ページ、総合計画の期間ですけれども10年を予定しております。というのは社会教育推進計画も10年でしたが、この生涯学習推進計画自体が先程申したとおり生涯学習の地域振興にかかる基本的な??を定める計画であり短い期間でかわるようなものではないということで10年に定めております。ただしこの計画のもとに策定される実施計画については前期後期5年ごとに実施計画を定めていく予定でございます。続きまして13ページ、この計画の基本理念ですが、これについては一次二次を踏襲しております。二次とまったく同じ理念としてかかげております。14ページここに新たに基本方針ということをかかげております。第三次生涯学習推進計画の目玉となるところで学び、活かし、つながるまち、我・孫・子という基本方針を定め、これにつながる政策、事業を目的に作られています。次に15ページ基本目標、第三次推進計画では5つの基本目標をかかげております。基本目標として、1. いつでも情報を得られ、相談できるまちづくりを目標に生涯にかけて学びのできるまち、基本目標3. 多様な学び場のあるまちづくり、4. 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり、5. 学びでつながるまちづくり以上5つの基本目標をかかげそれにつらなって政策をいたしております。18ページになります。体系、基本理念、基本方針、基本目標、施策というかたちで記載しています。続きまして第3章21ページからですが、ここではそれぞれの基本目標に対して現状、課題、政策の方向、重点的な施策というようにわけてそれぞれに表記をしております。ただこれについては先日11月4日に策定部会を開催しておりますが、意見が出ておりますので重点的な施策については無い方が良いのではないかなという意見がでておりますのでその辺の方を調整していきたいと思っております。次の4章で計画の推進体制ということで、一番関係しているところですが(2)(仮称)生涯学習審議会の運営、今までの推進計画では推進体制の担い手としてあびこ楽校協議会がありました。今回先程の計画で説明しましたとおり生涯学習推進計画と社会教育推進計画を一本化しております。その関係で推進体制の中で社会教育委員会とあびこ楽校協議会を一本化したいと考えております。ここに一本化した審議会をやっていただくことになりますが、(仮称)生涯学習審議会を成立したいと思っております。

す。関連しまして、ここにおられる社会教育委員の皆さんの任期ですが、本来であれば29年の7月末まで皆さんの任期がございます。ただこの第三次推進計画が策定されて4月1日から試行になりますと、体制として生涯学習審議会がたちあがることになります。その関係で皆さんの任期を今年度末をもって解くというかたちをとります。大変申し訳なく心苦しいのですが3月いっぱいまで任期を終了させていただきたいと考えております。で、改めて生涯学習審議会の委員の選考を4月以降に行います。それから第5章については資料を掲載する予定です。いくつか例をだしておりますがここについてはこれから掲載していくようなかたちです。以上です。

●渡邊委員長：ご質問ありましたら挙手をお願いします。生涯学習審議会委員というのは定数が何人であり、あびこ楽校協議会、社会教育委員会何ずつがいて最終的に生涯学習審議会は何人の定数を予定しているかを説明してください。

○生涯学習課長：今現在条例を作成中ですが、人数的には15名としたいと考えております。

●渡邊委員長：今現在はどのような状態ですか。

○生涯学習課長：あびこ楽校協議委員が15名、実際には14名です。社会教育委員さんが15名ということです。

●椎谷委員：読ませていただいて18ページに施策の体系がありますけど、骨組みはしっかりしているなと思いました。文章もレイアウトも非常に見やすく工夫されていて洗練されています。土台がしっかりしていて完成度が高いと思いました。非常によくできています。この計画に関して意見はありませんが、23ページのところに生涯学習市民意識調査の結果がでているのですが、最初のところが、他の項目は全部一番多いパーセントの高いものをあげているのですがここはなぜか一番多い意見が入ってなくてパーセントの少ないものがあげられているので違和感を感じてみていました。似たようなものが、36ページの今後学習したい内容というところにもあります。この2か所がそういう表現になっています。40ページ、私はこういうスタイルがいいかなと思ったのですが一番多いところに触れておきながら、さらにちょっと注意してもらいたいところをあげています。要は前の2点についても一番多い所も触れつつ、真ん中も触れるというのがバランス的に読みやすいかなという程度の印象を受けました。以上です。

●飯山委員：アンケートですが、最初このアンケートは施設を利用しに来た方たちに配ったということで書いてありますが、私なんかはこれに携わらなければ、社会教育について知らない市民の一人です。そうするともちろん施設を利用している方、例えば何か市民の会に入ってパソコンがうまくなりたいから来ている、その講座が良かったからそれに一回行ってみようと思って来ている、しょうがないで来ているという方達ばかりですよね。そういうところだけにアンケートをしているのでは、やっぱり自分が加入している市民の会をもっと発展させたいし、活動する場所も借りたいしということになってくると思うのですが。無理だと思うのですが、こういうものを行っていることを知らない、そこに来ていない人達結構いらっしやるのでそういう方達がいったいどういうことを望んでいるのかアンケート調査されないのですか。理不尽だとわかっているのですが、そこに書いてあることが、利用者に対して聞いたアンケートなのでそれは当然こういう結果になるだろうなと私は思います。さきほどのPRの話ですが、もっとPRをしていただいて参加したことの少ない人、知らなかった人の層

を広げていかないと社会教育自体が広まらないと思います。高齢化になってはいますが、それでも反対にお子さん連れもいらっしゃるのでそういう方たちが参加できるようになればと思います。

- 生涯学習課長：先程のアンケートのしかたですが、これは来た方にアンケート出してそれにまるをつけるというものではありません。独自にアンケート調査、無作為に2,000名抽出して郵送で回答を得たものを集計したものです。
- 渡邊委員長：先程言われましたように社会教育委員が3月で終了することでしたが、もう一回社会教育委員会会議はあるのでしょうか。
- 生涯学習課長：皆さんにはもう一度集まっていたきたいと思います。文面についても何かご意見があればどんどん事務局に出していただいてと思います。まだ事務局の書き手側の文になっておりますので、この辺は直したほうがよいのではないかな等の意見がありましたらどんどん事務局のほうにだしてください。
- 浅間委員：先程の2,000名無作為で抽出したということとということを書いていただくとありがたい。私も見ていてどうなのかなと非常に疑問に思いました。統計処理は答えがどうなのかしっかり書いてくれないとあまり意味がないのもできればよろしくお願ひします。
- 柴田委員：16ページの基本目標4、学んだ成果を活かすことのできるまちづくりですが、郷土の伝承を受け継いだ人、一芸に秀でた人とありますが講師をどのようなかたちでご指定されるのかお聞きしたいと思います。
- 生涯学習課長：ちょっと具体的なのでまだ事業としては考えてないのですが、登録していただくような形になると思います。
- 柴田委員：我孫子市にはもっともっと先生がいろんな方がいらっしゃるのでそういう方々を引っ張りあげる方法というのを考えていただきたいなと思います。
- 生涯学習課長：参考にさせていただきます。

(4) 「その他」生涯学習課より報告。

- 生涯学習課：事務局から報告させていただきます。6月30日に開催されました、平成27年度第1回社会教育委員会会議で「我孫子市ラブホテルの建築規制に関する条例」に基づく審査会委員の推薦について事務局から直接どなたかにお願いさせていただくことになっておりました。飯山初美委員にお願いをさせていただきまして、快くお引き受けいただきましたのでご報告させていただきます。また、前回もご報告させていただきましたが、来年度第58回全国社会教育研究大会千葉大会が千葉市で開催されます。現在県内の各市・各地区ごとにわかれてそれぞれ準備をすすめているところです。本日千葉大会のチラシができあがりまして皆様にお配りしておりますのでお時間がある時にぜひご覧ください。